



社) 倫理研究所富士教育センター 新入社員研修セミナー

4月4日(月)～6日(水)の3日間、1月に入社した冷凍部業務課齋藤文柚稀さんと新卒者4名が富士教育センターにて新入社員研修セミナーに参加されました。研修からの発見や学んだこと感じたことを述べていただきました。



参加者の集合写真



研修に参加し、いつも自分が人の指示を待ち、受け身になっていることに気がつきました。また、チームリーダーという立場にたたせていただき、とにかく自分にできることを全力でやりきる達成感を知ることができました。

心のどこかで自分の限界を決めてしまっていたので、途中からは積極的に声をかけ、周りの声に耳を傾けました。すると、今まで見えてこなかった一人ひとりの個性が見えてきました。相手の気持ちを知り、まごころを込めて接し、一つひとつの仕事に責任を持って最後までやり遂げる大切さを知りました。これからは日々、感謝の気持ちを持って過ごしていきます。

冷凍部業務課 齋藤文柚稀

今回の研修では、齋藤さんと同じく、チームリーダーを務めました。初めてリーダーという立場になり、また、初対面の人とチームを作り上げるということ体験しました。限られた時間の中で名前や性格まで覚えるのはとても大変でした。しかし、団体行動をするにあたり、何が必要か考えていた時に、(株)マイシンで行っている挨拶が大切なことに気が付きました。挨拶をすることでチームの人との距離が縮まり、たくさん話もすることができました。チームをまとめるのはとても難しかったですが、活力ある挨拶など基本的な事柄を実感し、学ぶことができる良い機会となりました。

混載 2G 山田亮太

初対面の方々とチームで行動をしていく中で、報告や連絡、相談といった行動の一つひとつが連帯感を深めていくことにつながることを実感することができました。また、挨拶や返事の練習、姿勢のテストにおいても、ただリーダーに全てを任せて終わるのではなく、自分の意見を伝えることが大事だと感じました。一人ひとりの力を合わせることで合格することができたのも様々な行動や話し合いの積み重ねの結果だと思いました。

研修中、体調を崩してしまい、チームの皆さんに多大なご迷惑や心配をかけてしまいました。今回の経験を通して自分の体調管理をきちんとするべきだと痛感しました。自分一人の不調が周りの方に影響を与えてしまうことをきちんと認識する機会にもなりました。

総務部 上村綾香



ハイの練習の様子

研修を通して、連帯感を持つことの大切さを学びました。初対面の方々とチームになり、行動する場面が多くあり初めは緊張の連続でした。チームの中で、誰か一人でも違うことを考えていたり、話もせず行動してしまったりするとチームの和が乱れ、協調性を欠いてしまいます。物事に取り組む際には、皆で団結して乗り越えていかなければいけないと強く感じました。

一般部業務課 高田真衣

研修を通して学んだことは、周りをしっかりと見て、自ら行動することです。最初は、「私が引っ張っていかなければ」と思い、実践していました。しかし、チーム内での話し合いの時、決まった人だけが意見を言い、中には特になんという人もいました。その時、私自身は、しっかりと皆でコミュニケーションをとれたつもりになっていただけで、私の自己満足に過ぎなかったと気づきと反省しました。

チーム目標を「切磋琢磨(人に頼りすぎない)」と決めてからは、皆、人が変わったかのように意見が出ました。チーム皆がお互いをしっかりと見て話し合うことで、コミュニケーション力、団結力、信頼、協力など、多くのことを身に付けることができました。一人の社会人として、普段の生活から学んだことを活かします。

一般部業務課 佐藤麻貴

活力朝礼研修 in 有楽製菓(株)豊橋夢工場

4月16日(土)に有楽製菓株式会社豊橋夢工場にて活力朝礼研修が行われました。営業部大前部長、一般部春日部長、管理部杉浦係長、冷凍部業務課齋藤文柚稀さん、新卒者4名が参加されました。大前部長に5名の様子や期待することなどをお聞きしました。

総勢50名以上の方々が参加され、弊社と同様に新入社員さんが参加されている会社様も数多くいらっしゃいました。普段の活力朝礼とは違った環境に緊張されている様子でしたが、先日の富士研修での研修が活かされており、大きな声や明るく素敵な笑顔が出ていました。

活力朝礼の経験回数が少ない状況での参加でしたので、自分たちの未熟さを感じたかもしれません。しかし、誰でも最初から完璧に出来る人はいませんので、これから回数を重ねてより良いものにしていきましょう。

今回の研修で、自分に不足している点を指摘していただき、気づきを得られたと思います。講師の方々から教わったことを弊社の活力朝礼に活かし、社会人としての基本的な動作等が向上することを期待しています。

営業部部長 大前 智



納車式

4月に新たに新車の4t車を2台購入しました。運行5G宮澤勝裕さんと運行9G伊藤和紀さんが乗務することになりましたので、新たなトラックになってのコメントをいただきました。また、一般部春日部長から、お二人を選んだ理由などをお聞きしました。



今回、2台の新車を一般部に購入して頂きました。運行5G宮澤勝裕さんと運行9G伊藤和紀さんに乗務して頂いています。宮澤さんはこれまで長年、事故も少なく、まじめな業務を行って頂いており、安心して預けることができます。また、伊藤さんはこれまでフリーとして他の方のトラックに乗って頂くことが多かったのですが、これからは、4t車はこの新車に腰を据え、さらに様々な仕事にチャレンジして頂きたいという思いから、この2名に会社から頂いた大切なトラックを託すことを決定しました。一般部部長 春日彰吾

春日部長より、新車の話をいただいたとき、本当にびっくりしました。まだ、慣れていなく、気を使いながらの運行に戸惑いもありますが、この綺麗なトラックをキレイなまま持続できるよう、また、事故がないように大切にしていきます。

運行5G 宮澤勝裕

現在もフリーとして運行しているので、大型にも乗務しますが、これからは4t車を新車で乗務することになり嬉しく感じています。まだ、あまり乗っていませんが、新車になったので、より色々な仕事にチャレンジし、どんどん稼げるように頑張ります。

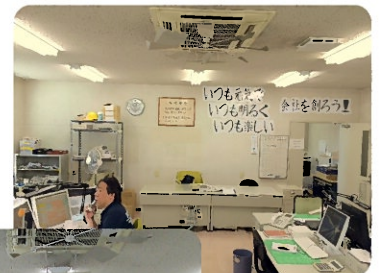
運行9G 伊藤和紀

本社事務所壁紙一新

この度、5月3日(火)~5日(木)のゴールデンウィークの3日間を利用して本社事務所の壁紙を新しくきれいにしました。皆さん、出勤時に明るくなったと感じませんでしたか。

事務所の中がとても明るくなったので、壁紙だけでこんなにも明るくなるのかと驚きました。事務所内が明るくなったことにより、お客様やドライバーさんたちを迎える側として、今まで以上に良い雰囲気作りが出来ました。

4月には新卒者の方が入社され、その他にも多くの方に入社していただいています。社員の方がより過ごしやすい環境を整え、「弊社に入社して良かった」と思っただけの環境づくりをこれからも実施していきます。



添乗指導者養成研修

4月20日(水)～22日(金)の3日間、中部トラック研修センターにて開催された、愛知県トラック協会が主催する添乗指導者養成研修に管理部稲橋係長、一般部運行3Gリーダー岩瀬介治さん、冷凍部混載1Gリーダー村田英之さんの3名が受講されました。この研修では、指導者を育てるため車両点検、基本走行、危険回避体験、エコドライブ、輸送安全規則の関係法令、健康起因事故防止対策、添乗指導実習、伝える技術、確実な点呼、拘束時間、運行管理者の指導、監督教育、輸送安全マネジメント等の研修となっており、今回新入社員さんの添乗指導の機会が多い2名が選ばれました。今回受講された3名に参加された感想や学んだことをお聞きしました。

研修は、座学と実技の両方で実施されました。座学では法令関係や日常点検の実施ポイント、健康起因事故防止対策、伝える技術等を学び、実技では基本走行、危険回避体験、エコドライブ、添乗指導実習等を学びました。

基本走行では、見通しの悪い交差点での確認方法で最徐行をして確認しなければ、見るべき情報を見落としてしまう危険性があるということを再確認しました。特に左折時では、徐行をしても確認の時間が1秒もないということを教わり、「今までの自分はどうかっただろう?」と考えさせられました。皆さんもぜひ考えてみて下さい。

この他にも危険回避体験で「急ブレーキ」のかけ方と「急ハンドル」による危険回避を体験し、実際の運転ではなかなか経験できないことを体験でき、良い勉強になりました。急ブレーキを踏むのは荷崩れを気にして躊躇してしまう人が多いようですが、まずは人命が第一ですのでこのような場面に遭遇した時は、思い切りブレーキを踏むようにしましょう。

エコドライブをすると事故防止にも繋がるということをご存じの方が多くと思いますが、更なる燃費向上に向け、今回の研修で学んできたことを伝えていきます。学んだことはこの他にもたくさんありましたが、今後の添乗指導を通じて皆さんへ伝えて事故防止に役立てていきます。

管理部 安全教育 係長 稲橋宗一



今回、研修を受講して気付いた事が沢山ありました。今まで社内で行っている点呼やミーティング、小集団発表会のPDCA、拘束時間がなぜ必要なことなのかよく理解する事ができました。

自分が添乗指導をする際、今までは自分の経験上の知識を新入社員に早く伝えることばかりを考えていました。今回の研修を受講して、本当に本人に身に付くような指導がはたして出来ていたのかと反省しました。

指導方法を分かりやすく教えていただき、私自身、本当に良い勉強ができたと感じています。今後は、今回経験したことを活かし、一人でも多くの無事故で安全運転の出来る新入社員を育てていきます。

運行3Gリーダー 岩瀬介治



添乗指導者養成研修ということで、添乗指導の方法のみを教えていただけると思っていました。しかし、まずは自分で運転してみたことで改めて運転の仕方、死角の有無、巻き込みなどを確認することができました。

危険回避体験では、普段の運転ではおそらく体験できないであろう急ブレーキを踏むという事ができたのは貴重な経験でした。

実技として、教官を交えての添乗指導を行いました。目線やハンドル操作など、いろいろな所に目を向けることの大変さ、指導の仕方の難しさ、人と人との接し方などといったことを徐々に理解することができました。今回学んだことや体験を活かし、添乗指導を行う際は、コミュニケーションをとりつつ、安全運転に関する

知識だけでなく心構えなども踏まえ伝えていきます。

混載1Gリーダー 村田英之



実技研修の様子

今回の研修によってより良い添乗指導ができ、無事故で安全運転のできるドライバーさんを育てていただけることを期待しています。



AED 設置と救命救急措置講習

3月29日(火)ついに弊社にも AED(自動対外式除細動器)が設置されました。平均年齢 43 歳と思いのほか高年齢化が進んでいる弊社にとって心強い味方が一つ増え、嬉しい限りです。

導入に際しては、購入元である ALSOK 杉浦様から事務所社員に対して、AED の使用方法も含めた救命救急措置の講習をしていただきました。正しい救命措置について学ぶことができ、不測の事態にも対処できるようになりました。

日本救急医療財団提供の「全国 AED マップ」の登録状況によると、弊社の近隣では、株式会社樹研工業様、マルアイユニティ株式会社様について 3 件目の設置となりました。AED の設置によって、この地域の安心を深めることができました。

とはいえ、AED のお世話にならないに越したことはありません。いつの間にか 52 歳となってしまった私も、心臓発作は他人ごとではなく、日ごろの健康管理が大事だと改めて考えさせられる機会となりました。皆様くれぐれもお体を大切にして過ごしてください。

管理部 情報管理 係長 杉浦広史



講習の様子

新入社員紹介



前職では、ルート配送をしていたので、この経験を活かし、頑張ります。よろしくをお願いします。

運行 4G 五反田みゆき

経験者とあって、覚えも早く、分からないことは納得するまで考えるので呑み込みが早く感心しています。

おばはんパワーで頑張る。 運行 4G 金子昌代



見た目は外国人ですが、気さくに話しかけていただくと嬉しいです。一生懸命頑張ります。

混載 1G 山本キヨシ

ドライバーは初めてとのことなので、分からないことばかりだと思いますが、基本を覚え、何でも聞いて自分のものにしていってください。 混載 1G 村田英之



前職でもドライバーをしていました。これからは、柵マイシンの一員として新たな気持ちで頑張ります。

部品定期 2G 篠原由士

細かい作業内容で覚えることが多いですが、遠慮なく教えていきますので、覚悟してください。そして、一緒に肉体改造しましょう。 営業部主任 瀬戸敦史



分からないことばかりで、戸惑うこともあると思いますが、元気良く頑張りますので、よろしくお願いします。

運行 7G 内藤智彦

集配経験者なので即戦力として期待しています。元気な挨拶と丁寧な荷扱いを心がけ、頑張ってください。 運行 7G 大島龍一

母の働き

本日は「母の日」です。母の日の由来は諸説ありますが、1905 年 5 月 9 日、アメリカのフィラデルフィアに住む少女が母の死に遭遇し、「生前に母を敬う機会を設けよう」と働きかけたことから、全米に広まったとされています。日本では、1937 年に製菓会社が「母の日」を広く告知したことから、今日のような全国行事として定着したそうです。

母と聞いて、皆さんはどのような母親像をイメージしますか。A さんの母は専業主婦でした。父の収入も多くはありませんでしたが、四人の子供を育てるため、いつも忙しく働いていました。

子供たちの世話がひと段落する頃、父が帰宅します。夕食の準備し、後片付けが終わると、もう寝る時間です。自分のことは二の次、三の次でした。それでも、いつも家庭の中が明るかったのは、何事にも朗らかな母のお陰でした。

母親の働きは、褒められたり、評価をされることがなかなかありません。今年は、母の働く姿を思い浮かべながら、感謝を伝えようと思う A さんです。

今日の心がけ：家族のために働く人を思いましよう

職場の教養：5月8日(日)より